

(1) 現状・実績 計画：第1章・第2章

- ①社会情勢
- 人口減少、少子高齢化の進行に伴い、今後空家の増加が予想される。
 - 令和5年度、空家等対策の推進に関する特別措置法の改正
- ②R2国勢調査（資料1 P6～P7）
- 人口減少 H2：27.7万人 → R2：26.4万人
 - 世帯人数の減少 H2：3.1人 → R2：2.3人
 - 高齢化（65歳以上） H2：9.3％ → R2：28.8％
- ③H30住宅土地統計調査（資料1 P.10～12）
- 空家数：18,830戸（H10年度から1.6倍）
 - H25-H30空家の減少 →0.5％減少しているが、全国平均より高い
 - 一戸建て住宅の空家 売却17.2％、賃貸1.9％、その他76.2％
 - 空家（マンション含む） 売却5.0％、賃貸70.9％、その他22.4％
- ④R5実態調査（資料1 P.16）
- 空家等数：2,897件（H29年度から1.5倍）
 - 適切に管理されている空家等：2,641件（91.2％）
 - 昭和56年以前建築の木造の空家等：2,140件（73.9％）
 - H29年度から空家等の状態：1,095件（56.5％）
 - 駅から近く（10分未満）、適正に管理されている空家等：1,578件（54.5％）
- ⑤アンケート調査（参考資料1）
- 回答率：36.4％
 - 所有者が60歳以上：662人 66.2％（72.8％）
 - 年に1回以上管理している人：401人 95.7％（95.7％）
 - 「利用を考えておられる方」：322人 65.7％（65.7％）
 - 内「売却、賃貸」：225人 45.9％（49.7％）
 - 内「どうしたら良いのかわからない方」「何もしていない」：85人37.8％（39.2％）
 - 空家等になった理由：「転居・転移」「死亡」「老人ホーム等への入居」が342人 69.8％（73.7％）
 - 空家活用補助制度等の認知度：「知らない」の割合
 - 中古住宅流通促進補助：85.8％（95.5％）
 - 空家バンク：59.2％（64.7％）
 - 法改正：77.8％（82.5％）
- ※括弧内は無回答者を除いた割合
- ⑥これまでの取組み（資料1 P.34～41）
- 相談件数:1,037件（H26-R5）
 - 内 助言・指導中 281件（是正率58.1％）
 - セミナー、相談会、空家啓発冊子の作成など空家等所有者向け、空家にならないための取組みを実施
 - 空家セミナー：5回 179名 おしかけ講座：4回 97名
 - 空家の利活用に対する支援として、空家バンクの創設、各種補助制度を実施
 - 空家バンク マッチング成立件数 2件
 - 中古住宅流通促進補助 31件 同居支援補助制度 6件
 - 空家等除却補助制度 16件
 - 13団体との連携協定締結

(2) 課題 計画：第2章

- 空家等の増加
- 管理不全空家等への対応
- 戸建て住宅の流通
- 空家等の常態化
- 老朽化の進行
- 所有者の高齢化
- 周知啓発の手法
- 適切に管理されていない空家等
- 助言・指導の長期化
- さらなる連携の必要性

(3) めざす姿・方針 計画：第3章

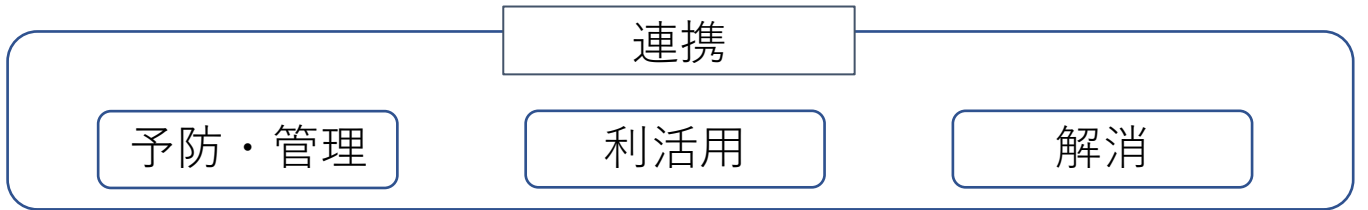
めざす姿
(案)

空家にしない、
空家が管理され、
空家を上手に使い、
安全・安心な活力のあるまちづくりをめざします

方針（案）

- 建物が住み継がれる持続可能なまちづくりをめざします
- 空家が適切に管理され安全・安心なまちづくりをめざします
- 空家等が有効に利用される、活気あるまちづくりをめざします

(4) 施策の方向性 計画：第3章



(5) 具体的な取組み・目標値等 計画：第4章～

次回提示予定